

パートナー

山崎卓也 (YAMAZAKI, Takuya)



(第二東京弁護士会)

経歴

- 1993 年 3 月 早稲田大学法学部 卒業
- 1994 年 10 月 司法試験 合格
- 1995 年 4 月 司法研修所 入所
- 1997 年 4 月 弁護士登録 (第二東京弁護士会) マックス法律事務所 入所
- 2001 年 1 月 Field-R 法律事務所 設立

主な活動・資格等

- ・ [スポーツ仲裁裁判所 \(CAS\)](#) 仲裁人
- ・ [国際サッカー連盟 \(FIFA\) 紛争解決室](#) 仲裁人 (2009 年～2019 年)
- ・ 日本サッカー協会認定選手エージェント (1999 年～2009 年。FIFA 紛争解決室仲裁人
就任に伴い 2009 年 7 月に資格を返還)
- ・ [国際プロサッカー選手会 \(FIFPro\) アジア・オセアニア支部](#) 代表
- ・ [世界選手会 \(World Players Association\)](#) 理事
- ・ [国際インディーズレーベルネットワーク \(WIN\)](#) 理事 (Alternate)
- ・ [東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・人権労働・参加協働ワーキン
ググループ](#) 委員
- ・ [東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・持続可能性に配慮した調達コ
ードに基づく通報受付窓口に係る助言委員会](#) 委員候補者
- ・ [芸団協実演家著作隣接権センター \(CPRA\)](#) 法制広報委員会委員 (2007 年～2015 年)
- ・ [日本スポーツ法学会](#) 理事
- ・ [アジアスポーツ法学会](#) 理事
- ・ [一般社団法人スポーツビジネスアカデミー](#) 理事
- ・ [ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」起草委員会](#) 委員
- ・ [日本スポーツ仲裁機構](#)・スポーツ仲裁法研究啓発活動委員会委員 (2007 年～2014 年)
- ・ [日本スポーツ仲裁機構](#)・スポーツ界のガバナンスに関する委員会委員 (2010 年～2011
年)
- ・ [日本スポーツ仲裁機構](#) 仲裁人・調停人候補者
- ・ [日本体育協会](#)・国民体育大会の参加資格に関する第三者委員会委員 (2010 年～2011 年)

- ・ [日本弁護士連合会・弁護士業務改革委員会](#) スポーツ・エンターテインメント法促進PT 幹事
- ・ [英国スポーツ法サイト "LawInSport" 編集委員](#)
- ・ フランススポーツ法サイト "[droitdusport.com](#)" 発行 "Football Legal" 学術委員
- ・ [国際サッカー弁護士会](#) 会員
- ・ [米国 Sports Lawyers Association](#) 会員
- ・ [国際エンターテインメント弁護士会](#) 会員
- ・ [中央大学法学部](#) 非常勤講師 (2007～2016 年「健康・スポーツ科学 B (スポーツ法)」担当)
- ・ [早稲田大学法科大学院](#) 非常勤講師 (2007～2016 年「スポーツ・エンターテインメント法」担当)
- ・ [日本大学スポーツ科学部](#) 非常勤講師 (2016 年「スポーツの法と倫理」)
- ・ [MPA 音楽著作権管理者養成講座](#) 修了 (1997 年)
- ・ "[The Best Lawyers International](#)" - Japan における "Media and Entertainment Law" と "Sports" の 2 つの分野で 2009 年の調査開始以来継続して Best Lawyers の 1 人に選出
- ・ 2009 年 8 月 29 号・週刊ダイヤモンド「本当に使える企業弁護士」のエンタメ・スポーツジャンルにおける「厳選！有名企業も頼りにする『らっ腕弁護士』」2 名のうちの 1 名に選出
- ・ "[Who's Who Legal](#)" - "The International Who's Who of Sports & Entertainment Lawyers" の 1 人に選出 (2013 年～)
- ・ "[Who's Who Legal](#)" - "Who's Who Legal Japan: Sports & Entertainment - Sport" の 1 人に選出 (2014 年～)

著作・論文

書籍等

- ・ 「[エンターテックブック 日本人のためのグローバル著作権ビジネス講座 今、世界で起きている著作権バトルと成功のための未来予測](#)」 (PHP 研究所・共著)
- ・ “ [THE FIFA REGULATIONS ON WORKING WITH INTERMEDIARIES](#) ” (International Sports Law and Policy Bulletin (Issue 1 - 2016)) (共著) Sports Law and Policy Centre 刊
- ・ 「[標準テキスト・スポーツ法学](#)」 (エイデル研究所。共著。「スポーツと国際法」担当)
- ・ "[REGULATING EMPLOYMENT RELATIONSHIPS IN PROFESSIONAL FOOTBALL A COMPARATIVE ANALYSIS](#)" (Sports Law and Policy Centre・共著。)

"Japan" 担当)

- ・ 「[スポーツガバナンス実践ガイドブック](#)」 (民事法研究会・共著)
- ・ "[International and Comparative Sports Justice](#)" ([Sports Law and Policy Centre](#)・共著。
"Sports Justice in Japan" 担当)
- ・ 「詳解スポーツ基本法」 (成文堂・共著)
- ・ "[Sports Law in Japan](#)" (International Encyclopedia of Laws Series。Kluwer Law International 刊)
- ・ 「エンターテインメント法」 (学陽書房。「プロスポーツ」担当)
- ・ "[PLAYERS' AGENTS WORLD WIDE LEGAL ASPECTS](#)" (ASSER International Sports Law Centre 刊・"Japan" 担当。平田竹男教授名義の論文に実質の執筆者としてクレジット)
- ・ 「プロ野球の問題点とこれからの法政策」 (神戸大学法政策研究会編「法政策学の試み—法政策研究 (第 11 集) 特集・改革期のプロ野球」所収)
- ・ 「著作権法コンメンタル」 (勁草書房刊・共著)
- ・ 「トップスポーツビジネスの最前線—スポーツライティングから放映権ビジネスまで」 (講談社刊・「スポーツの法務」担当)
- ・ 「ネットショップ開業法律ガイド」 (日経 BP 社刊・共著)
- ・ 「知的財産権辞典」 (三省堂刊・共著)
- ・ 「インターネット・デジタルコンテンツの法律知識と Q&A」 (法学書院刊・共著)
- ・ 「インターネットビジネスの法律ガイダンス」 (毎日コミュニケーションズ刊・共著)
- ・ 「デジタル時代の著作権ビジネス契約実務マニュアル」 (インプレス刊・執筆担当)

論文・雑誌連載等

- ・ "[Sanctioning Freedom of Speech in Asian Football – Between Fair Comment and Unsporting Behaviour](#)" (droitdusport.com 刊「Football Legal」 #10)
- ・ "[Advocacy for International Players in the Event of Termination by the Club](#)" (droitdusport.com 刊「Football Legal」 #9)
- ・ 「[スポーツ法のこれからの役割—スポーツを通じて人権保障を実現する時代](#)」 (日本評論社刊・「法学セミナー」2018 年 9 月号)
- ・ 「五輪におけるソフトレガシーとしての Integrity 関連規制はいかにあるべきか」 (日本スポーツ法学会年報第 23 号 (2016) 「アジアにおけるオリンピック・パラリンピック開催をめぐる法的諸問題」)
- ・ 「大学院生 (法科大学院を含む) を対象とした授業に関する報告」 (日本スポーツ法学会年報第 22 号 (2015) 「スポーツ法学教育のあり方を考える」)
- ・ 「[スポーツに関する国際的な法整備](#)」 (ぎょうせい刊「法律のひろば」2015 年 10 月号)

- ・ [“TAKE THE "AMATEURISM" REGULATIONS OUT OF STUDENT SPORTS - THE COLLAPSE OF AMATEURISM IN JAPANESE AND US STUDENT SPORTS”](#) (英国スポーツ法サイト"LawInSport"刊 "UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME MAGAZINE")
- ・ ["Music Streaming in Japan"](#) (国際エンターテインメント弁護士会 2015 年学会誌)
- ・ ["Japanese Sports Law Blog"](#) (「[LawInSport](#)」 2014 年 9 月～)
- ・ "World In Review - Japan" (droitdusport.com 刊「Football Legal」 2014 年 6 月号)
- ・ 「スポーツガバナンスをめぐるヨーロッパの現状調査」(日本弁護士連合会刊「自由と正義」 2014 年 5 月号)
- ・ ["Sports Law 2014 - Virtual Round Table"](#) (専門家の 1 名として参加。
「CorporateLiveWire」 2014 年 3 月)
- ・ "An Analysis of IP Rights in Japanese Sports Business" (パート 1～2。 [「LawInSport」](#) 2014 年 1 月)
- ・ ["The Unionization of Sports Players & Athletes - The Global Trend of Unionization with a Focus on the World Football Players' Union \(FIFPro\)"](#) (体育科研 35 号 (2013 年) 上海政法学院)
- ・ 「Integrity 問題の法的な論点整理と国際的傾向～Sports Betting に関連する八百長問題、無気力試合・故意的敗退行為、その他～」(日本スポーツ法学会年報第 20 号 (2013) 「法的観点から見た競技スポーツの Integrity～八百長、無気力試合とその対策を中心に」)
- ・ "The Rights 'Revolution' for Pro Stars in Japan" (パート 1～3。 [「LawInSport」](#) 2013 年 5 月)
- ・ ["The Prospect of and Need for Sports Arbitration in Asia - a Japanese Lawyer's Perspective"](#) (「[LawInSport](#)」 2013 年 2 月)
- ・ 「音楽人」養成メルマガ「クラウド時代の超ラディカル著作権論」(2012 年 12 月から 2013 年 4 月まで連載)
- ・ 「スポーツ選手の組織化・その背景と世界的潮流～国際プロサッカー選手会 (FIFPro) を中心に」(旬報社刊「労働法律旬報」 1785 号 (2013 年 2 月上旬号))
- ・ 「The Recent "Revolution" for the Rights of Professional Players in Japan」(フィンランドスポーツ法学会 2012 年学会誌)
- ・ 「スポーツビジネスにおける知的財産権法の "Misdirection play"」(日本知的財産協会刊「知財管理」 2012 年 9 月号)
- ・ 「プロ野球選手肖像権訴訟に関する一考察」(早稲田大学浦川道太郎教授と共著。民事法研究会刊「Law&Technology」 57 号 (2012 年 10 月発行))
- ・ 「アジアにおけるプロサッカー選手の権利と FIFPro Asia の役割」(日本スポーツ法学会年報第 17 号 (2010) 「アジア各国におけるスポーツ法の比較研究」)

- ・ 「講演録・著作権紛争はいかに解決されるべきか―「日本版フェアユース」論の片隅で置き去りにされる本当の実務的課題―」（著作権情報センター刊「コピーライト」2009年9月号）
- ・ 「我が国のプロ野球・サッカー選手の権利と弁護士役割」（日本弁護士連合会刊「自由と正義」2009年8月号）
- ・ "Sports Betting and the Law in Japan" (International Sports Law Journal 2009/1-2)
- ・ スポーツビジネスオンライン (Sports Business-Online) 連載・「5 opinions」「プロスポーツ法務の最前線」など
- ・ 「日本におけるプロスポーツ法の現状と問題点～実務的観点から見る日本における選手の権利、選手・球団間の労使紛争をめぐる問題点～」(日本スポーツ法学会年報第14号(2007)「プロスポーツの法的環境」)
- ・ 「講演録・著作権、パブリシティ権侵害における「実質的違法性」(著作権情報センター刊「コピーライト」2006年8月号)
- ・ 「プロ野球問題と法律、法律家の役割」(日本評論社刊「法学セミナー」2005年5月号)
- ・ 「放送・通信融合」を法律から読み解く(インプレス刊「INTERNET magazine (インターネットマガジン)」2005年5月号)
- ・ 「プロ野球代理人交渉制度導入への経緯、実施状況と今後の課題―選手が求めるもの、制度導入への戦いと今後の課題」(日本弁護士連合会刊「自由と正義」2001年9月号)
- ・ ZDNet: Helpdesk - How-to「e-Business 実践法律講座」(共著・2000年)
- ・ 「デジクリ」(ソニーマガジンズ刊)における著作権コラム連載(1998年～1999年)

セミナー・講演

2019年

- ・ UNI Global Union - LCJapan「スポーツと人権」
- ・ IMCJ (Independent Music Coalition Japan) New Standard Music Marketing 講座「[デジタルで音楽の対価と契約はどう変わったか](#)」
- ・ All That Matters (Music Matters) 2019「[Entertainment Law in the Digital Age](#)」
- ・ Asia International Arbitration Centre (AIAC) - International Sports Law Conference「[2019 Sports Arbitration Update: Hot Topics and Recent CAS Decisions](#)」

2018 年

- ・ 日本オリンピック委員会 (JOC) アントラージュ専門部会「[アスリートのプロ化とエージェント・マネジメント](#)」
- ・ ROMANIAN SPORTS FORUM (ブカレスト・ルーマニア)「[The Current State of Economics and Legacy of the Olympic Games](#)」
- ・ Centre for Sport and Human Rights + 経済人コー円卓会議日本委員会「[Implementing Respect for Human Rights in Sporting Events: Two years to go for the 2020 Tokyo Olympic & Paralympic Games](#)」
- ・ LawInSport "Japan: Update on the commercial and regulatory legal issues ahead of the Rugby World Cup and Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games" ("UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME" Conference in London)
- ・ AIAF (International Association for Football Lawyers) "FOOTBALLERS' CONTRACTS" (6th AIAF CONGRESS)
- ・ MaMA Festival and Convention 2018 (パリ・フランス)「[DAWN OF THE INDUSTRY OF THE ARTISTS](#)」
- ・ スポーツビジネスアカデミー「[21 世紀型スポーツビジネスと、東京五輪の「今」](#)」
- ・ 西村あさひ法律事務所リーガルフォーラム「[FIFA が取り組むステークホルダー・エンゲージメントと、五輪を含む人権尊重ムーブメント](#)」
- ・ ユニセフ「[「子どもの権利とスポーツの原則」発表イベント・シンポジウム ～ 子どもが活きるスポーツの在り方](#)」

2017 年

- ・ NY:LON Connect (ロンドン・イギリス)「[ALL CHANGE: LEADING MARKETS IN TRANSITION - Japan](#)」
- ・ アジアスポーツ法学会 (韓国・ソウル)「オリンピックなどのメガスポートイベントが生み出す新たな法的トレンド～国際的な法整備機能と人権保障機能～」
- ・ スポーツビジネスアカデミー「[国際スポーツビジネスの『成功の方程式』としてのルールメイキング力](#)」
- ・ SXSW (オースティン・米国)「[Demystifying Asia's Music Industry](#)」(シンポジウムのパネリストとして参加)
- ・ 台湾国立体育大学“International Law and Sports”, “Globalization of Union Movement”
- ・ 台湾スポーツエンターテインメント法学会 (TASSEL) “Response to Racism and Hooliganism in Sports”
- ・ スポーツビジネスアカデミー「[学生スポーツのあるべき姿を考える～100 年先に行く NCAA から何を学ぶべきか～](#)」
- ・ IHRB + 経済人コー円卓会議日本委員会「[OPERATIONAL GREIVANCE](#)」

MECHANISMS IN THE CONTEXT OF TOKYO 2020」

- ・ スポーツビジネスアカデミー「サッカークラブの GM という仕事」
- ・ 慶應義塾大学ロースクール・経済法ワークショップ「プロフェッショナル・スポーツと独占禁止法」

2016 年

- ・ スポーツビジネスアカデミー「国際スポーツの現場から見えるスポーツの潜在力とビジネストレンド」
- ・ スポーツビジネスアカデミー「スポーツビジネスにおける『成功の方程式』」
- ・ ピープルフォーカス・コンサルティング——グローバル・エンゲージメント・イニシアチブ有志会「社会的課題解決プロデューサーとしてのスポーツ」
- ・ 経済人コー円卓会議日本委員会 "Grievance Procedures in Sports Federations – FIFA DRC"
- ・ MU:CON（韓国・ソウル）"Current Status and Future Trends of Digital Music Distribution in Japan - An International Perspective -"
- ・ ニューミドルマン養成講座「グローバル著作権ビジネス～今、世界で起きているバトルと、成功のための未来予測～」
- ・ 日本ファンドレイジング協会×スポーツビジネスアカデミー「CSV 時代のスポーツと企業と NPO の幸せな関係」（シンポジウムのパネリストとして参加）
- ・ 日本スポーツ法学会「ロシア・ドーピング問題が提起した課題～規制強化は本当に効果的か。競技者の人権の観点～」

2015 年

- ・ LawInSport "Athletes Welfare" ("UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME" Conference in London)
- ・ 若手法曹国際協会(AIJA)「国際的なスポーツ法弁護士になるためのキャリアアップ— FIFA の仲裁人, プロスポーツ選手のエージェント, スポーツビジネスに関する国際交渉」
- ・ 大阪弁護士会スポーツ・エンターテインメント法実務研究会「スポーツ界で仕事をしている弁護士の一例」
- ・ SXSW アジア事務局「SXSW Music でのセミナーに見るサブスク時代の最新音楽著作権バトル」
- ・ 国際エンターテインメント弁護士会 "The Legal Update for Entertainment & Technology (Japan)"
- ・ アジアスポーツ法学会「五輪におけるソフトレガシーとしての Integrity 関連規制はいかにあるべきか」

- ・ 日本弁護士連合会「[青少年アスリートのスポーツ権の確保と弁護士の役割](#)」(コーディネーター兼パネリスト)
- ・ 日韓弁護士協議会「スポーツ選手及び芸能人の専属契約における問題点～芸能人・選手側が専属契約を終了させたい場合の実務的・法的問題点～」

2014 年

- ・ [仙台大学](#)「サッカー選手の代理人業務の現状とこれから」
- ・ オランダ・[Asser 国際スポーツ法センター](#) "Sports Justice in Japan"
- ・ [UNI Sport Pro](#) "The Saga of 'Reforming the Posting System' - Multilateral negotiation and the economics of international baseball transfers"
- ・ [FIFPro \(国際サッカー選手会\) 及び APPI\(インドネシアサッカー選手会\)](#) "Fundamental Players' Rights Guaranteed by the FIFA Regulations - Fundamental Knowledge for the 'Good of the Game'"
- ・ 国際サッカー弁護士会 "What strategies can players employ to exploit their image rights?"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポンサー契約を通じたグッドガバナンス」
- ・ 国際法曹協会 (International Bar Association) "[Corruption in Sport](#)"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポーツ法学教育の在り方―法科大学院生を対象とした授業に関する報告」

2013 年

- ・ 中国・上海 [Boss & Young 法律事務所](#) "FIFA DRC"
- ・ アジラスポーツ法学会 "Sports Governance in Japan"
- ・ 早稲田大学「スポーツ法とは何か」(ロブ・シークマン教授の通訳)
- ・ 日本弁護士連合会「スポーツ界におけるグッドガバナンスとフェアプレーの精神」(ロブ・シークマン教授の通訳とスポーツガバナンス海外調査報告担当)

2012 年

- ・ [同志社大学](#)「国際スポーツ法務」
- ・ オランダ・ユトレヒト [CMS 法律事務所](#) "Sports Law in Japan"
- ・ [愛知県弁護士会](#)「サッカー選手の代理人業務と弁護士業務」
- ・ 中国・[北京師範大学](#) "Sports Law in Japan"
- ・ [早稲田大学](#)「トップスポーツビジネスの最前線」
- ・ 日本スポーツ法学会「法的観点から見た競技スポーツの Integrity―八百長、無気力試合とその対策を中心に―」

2011 年

- ・ 日本スポーツ法学会「東日本大震災がプロスポーツに与えた影響と法的問題」
- ・ [札幌学院大学](#)「プロスポーツにおける選手の権利と法律家・代理人の役割」
- ・ アジアスポーツ法学会 "The analysis and prospect of sports arbitration in Asia"
- ・ [UNI Global Union](#) "Fight for the players' rights in Japanese Baseball."

2010 年

- ・ 日本スポーツ仲裁機構シンポジウム「世界におけるスポーツ仲裁と日本」
- ・ 中国・[武漢大学](#)他 "Sports Betting and Match-Fixing in Japan"
- ・ 日本スポーツ仲裁機構「FIFA 仲裁」
- ・ [国際スポーツ法学会 \(IASL\) 第 16 回大会](#) "Recent Changes in the Rights of Professional Sports Players/Athletes in Japan and the Rule of Law"

2009 年

- ・ 著作権情報センター「著作権紛争はいかに解決されるべきか―「日本版フェアユース」論の片隅で置き去りにされる本当の実務的課題―」
- ・ FIFPro（国際サッカー選手会）Lawyers' Network "Developments in the transfer system in Japan"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポーツ権とスポーツ基本法」
- ・ アジアスポーツ法学会「アジアにおけるプロサッカー選手の権利と FIFPro Asia の役割」
- ・ 韓国・[中央 \(Chung-Ang\) 大学](#) "The rights of professional players in Japan"

2008 年

- ・ 日本スポーツ仲裁機構「スポーツ仲裁の制度改革への影響」
- ・ サニーサイドアップ・EGG FACTORY 特別講義「スポーツエージェントの実際」
- ・ ジェブエンターテイメント「選手を支えるフットボールビジネスセミナー・選手の肖像権の実務とトラブルのケーススタディ」
- ・ 第二東京弁護士会スポーツ法政策研究会「日本サッカー協会認定選手エージェントとしての業務」

2007 年

- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS)「知的財産権基礎セミナー」(「肖像・パブリシティ権」担当)
- ・ 神戸大学法政策研究会「プロ野球の問題点とこれからの法政策」

2006 年

- ・ 映像実演権利者合同機構（PRE）「実演家の権利」
- ・ 著作権情報センター「著作権、パブリシティ権侵害における『実質的違法性』」
- ・ 日本俳優連合「実演家の権利―ワンチャンス主義の適用範囲と限界」
- ・ グロービス・マネジメント・スクール・あすか会議「スポーツ法務という裏方仕事」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース「著作権とビジネス」
- ・ IT 企業法務研究所（LAIT）「エンタテインメントビジネスと独禁法・下請法」
- ・ 日本スポーツ法学会「プロスポーツにおける選手契約の実像～日本のプロ野球と J リーグにおける選手契約の比較～」
- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会（ACCS）「知的財産権基礎セミナー」（「肖像・パブリシティ権」担当）
- ・ 日本スポーツ法学会「日本におけるプロスポーツ法の現状と問題点～実務的観点から見る日本における選手の権利、選手・球団間の労使紛争をめぐる問題点～」

2005 年

- ・ 新社会システム総合研究所「最強プロデューサーの『実践的』著作権実務」
- ・ 新社会システム総合研究所「最強プロデューサーの『実践的』契約スキル」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース「著作権とビジネス」
- ・ 新社会システム総合研究所「『放送と通信の融合』に伴う法的諸問題 の行方を追う」
- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会（ACCS）「知的財産権基礎セミナー」（「肖像・パブリシティ権」担当）
- ・ 帝京大学「スポーツマネジメント」（「プロスポーツ界の弁護士」担当）
- ・ 早稲田大学「トップスポーツビジネスの最前線」（「スポーツ法務」担当）

2004 年

- ・ 新社会システム総合研究所「『上級・ビジネス著作権検定』直前対策講座」
- ・ 日本スポーツ仲裁機構「スポーツビジネスにおける法的問題の概観」
- ・ 日本弁護士連合会・独占禁止法研究会「プロ野球参入障壁の実態と問題点」

2003 年

- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会「ソフトウェア開発契約のポイント」
- ・ 新社会システム総合研究所「携帯コンテンツ、ブロードバンドコンテンツ調達のための契約書作成マニュアル」
- ・ 新社会システム総合研究所「事例で考えるコンテンツビジネスにおける独禁法対策のポイント」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース「著作権とビジネス」

- ・ 総務省 2003 年度情報通信人材研修事業・財団法人原総合知的通信システム基金主催「放送番組制作者のための著作権技術研修」
- ・ 新社会システム総合研究所「コンテンツビジネスにおける権利侵害リスク判断・演習講座」

2002 年

- ・ 新社会システム総合研究所「エンターテインメントファンドの法理と実務」
- ・ 総合教育セミナー (TED)「事例・判例で学ぶ肖像・パブリシティ権」
- ・ 新社会システム総合研究所「肖像パブリシティ権実務感覚養成講座」
- ・ 総合教育セミナー (TED)「最新事例、最新法制から見たインターネットと著作権」
- ・ 新社会システム総合研究所「5 月施行『プロバイダー責任法』時代のブロードバンド配信と情報伝達者の責任」
- ・ 総合教育セミナー (TED)「デジタルコンテンツの著作権処理と契約書作成ノウハウ」
- ・ 社団法人企業研究会「ブロードバンド時代の実践的著作権法務」
- ・ 新社会システム総合研究所「ブロードバンドコンテンツ配信における権利侵害クレーム対応マニュアル」
- ・ 関西テレコムテクノロジー「コンテンツ配信をめぐる著作権問題」
- ・ 新社会システム総合研究所「放送と通信の融合に伴う法的諸問題」

2001 年

- ・ 新社会システム総合研究所「デジタル時代の著作権処理と契約書作成マニュアル」
- ・ 日本計画研究所「事例で考える『デジタル時代の著作権処理と契約書作成』」
- ・ 新社会システム総合研究所「新法・著作権等管理事業法で変わる著作権ビジネスと契約実務」
- ・ アクセスブレイン「アーティストとの契約実務」
- ・ アクセスブレイン「エンターテインメントファンドと音楽制作ファンド」
- ・ 新社会システム総合研究所「ブロードバンド著作権と権利処理実務」

2000 年まで

- ・ windows コンソーシアム「ビジネスモデル特許」(2000 年)
- ・ デジタル時代の著作権協議会 (CCD)「インターネットと放送」(2000 年)
- ・ JAGAT「PAGE2000」講演「デジタル時代の著作権のあり方」(2000 年)
- ・ 総合教育セミナー (TED)「デジタル時代の著作権処理と契約書作成ノウハウ」(2000 年)
- ・ 日本電子出版協会 (JEPA)「著作権セミナー」(1998 年、1999 年、2000 年)
- ・ windows コンソーシアム「デジタルコンテンツの著作権問題 (音楽編、出版編、映像・

画像編)」（1998 年、1999 年、2000 年）

- ・ メディアアーティスト協会（MAA）「著作権講座（仲介業務法）」「著作権講座（著作権バトルの事例考察）」（1999 年）
- ・ 日本ソフトウェア産業協会（NSA）「2000 年問題への法的対処」（1999 年）
- ・ 札幌市情報システム調査研究会「音楽ビジネス革命」（1998 年）
- ・ 文部省学術情報センター「電子出版ビジネスと著作権」（1998 年）